

学校名	白石町立北明小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上については「家勉週間」が定着し、家庭との連携も図られ、学習状況調査において良い結果が出た。学習規律についての共通理解などにより、落ち着いて学習できる環境が整ってきている成果だと捉える。保護者アンケートにおいても、本校の教育活動について全項目で「概ね達成」以上の評価であり、学校関係者評価においても、高い評価を受けた。</li> <li>・本校児童の課題について全職員で共通理解を図り、課題解決の方策を考え取り組んでいった。あいさつ、表現力などの課題も対応策による取組により改善してきている。また、支援を要する児童についても特別支援コーディネーターを中心に共通理解や日頃の情報交換を活発にした。そのことが安心して学べる場づくりにつながっていったと考える。</li> <li>・業務改善・教職員の働き方改革の推進については、重点的な取組月間を設けたり、定時退勤日を設定したりした。意識の向上が見られ、時間外勤務時間は減ってはきている。心身の健康、子どもと向き合う時間の確保などについても更に意識し、職員が充実感を持って働ける職場づくり、業務改善などの手立てを図っていく必要がある。</li> <li>・地域や家庭との連携、協働の精神による児童の育成に向けて、情報発信については課題が残った。いかに、学校の取組を発信していくか手立てを考えていく必要がある。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	<p style="text-align: center;"><b>学校・家庭・地域の思いを受け継ぐ輝く北明っ子の育成</b></p> <p>◇ <b>かしこく（知）</b>：確かな学力・知恵を磨く ◇ <b>やさしく（徳）</b>：やさしい心・人と関わる力を培う ◇ <b>たくましく（体）</b>：健康で元気な態度を育む</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生き生きと学習に取り組み、自分の考えや思いを伝え合い、学び合う児童の育成。</li> <li>○人と協調し、人を思いやる心の育成○人と関わる力の育成○感謝する心と学校や郷土を愛する心の育成</li> <li>○望ましい健康生活の習慣化、学校体育の推進○食育の推進と性教育の実施○防犯・安全教育の推進○特別支援教育、教育相談の充実</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目				
		重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●全職員でマイプランを共有する。 ・校内研修で取組内容・進捗状況を交流し促進を図る ・相互に授業を参観し各自の取組の参考にする。	
	○様々な場での交流活動の充実と表現力の向上	○「自分の考えを友達に伝えることができる」と答える児童の割合を50%、「グループや全体の場で自分考えを説明することができる」と答える児童の割合を80%以上にする。	・各教科で、資料等を基に自分の考えをまとめたり、交流・説明したりする場を意図的に設定する。 ・授業相互参観週間を設定し、授業改善を図る。	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートを実施し、意識を高める ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等を実施する。 ・「たすきコーナー」(児童の認め合い)や道徳コーナーを効果的に活用し、児童の自己肯定感を高める。	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができてしていると回答した教員90%以上	・定期的なアンケートや、心のチェックシートにより児童の実態把握に努める。 ・いじめの対応についての研修・会議を長期休業中および随時行う。	
	◎目標の実現に向けて努力し、充実した学校生活をおくろうとする気持ちを高める教育活動	◎自分の目標やめあてに向かって努力していると答える児童 80%以上 ◎学校生活が楽しい、充実していると答える児童90%以上	・学習の時だけでなく、様々な活動の折には目標やめあてを立て、それを振り返る活動を通して、自分自身の成長を感じられるようにする。 ・児童が活躍できる場を多く設定して自己有用感を高めたり、友達と関わる活動を多く仕組んだりして、共に活動することのよさを感じられるようにする。	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	◎「健康に食事は大切である」と考える児童生徒95%以上	・給食委員会による毎日の放送や給食集会を通して食に対する意識を高める。 ・栄養職員と連携し、各学年食育の授業を1時間以上実施する。 ・食育標語に全校で取り組み食に対する意識を高める。	
	○安全に関する資質・能力の育成	○登下校において、自分で安全に気を付けていると答える児童80%以上 ○避難訓練において、自分で考えて行動できたと答える児童80%以上。	・登校班長会議を行い、意識を持たせる。 ・避難する際の注意事項について事前指導を行い、訓練後には自分の行動についてふり返らせる。	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・学校行事の内容や、準備に係る時間の見直しを行う。 ・定時退勤日の設定、掲示物やモニターにを活用した意識の向上を図る。 ・メンタルヘルス、サービスの研修とともに働き方改革についても研修を行う。	

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				
		重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○特別支援教育の充実	○支援が必要な児童への適切な支援についての全職員による共通理解と実践	○年2回、職員に対して意識調査を実施し、特別支援体制が機能していると答える職員が80%以上を目指す。	・個別の教育支援計画、指導計画を確実に作成し、前期後期で振り返りをして改善をする。 ・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議を開催し、情報共有を図る	